

# 南成瀬小学校の教育

～子どもたちの「夢の土台づくり」ができる学校～

本校は開設35年目、「なんなる小」の愛称で呼ばれています。義務教育期間に児童が身に付ける力を「夢の土台」と捉え、将来につながる基礎をしっかり身に付けさせることや夢をもたせたり可能性を広げたりする教育に取り組んでいます。主な特色は以下の4点です。

## (1) 確かに考え、表現しながら学びを深める授業の工夫

教育委員会が指定する研究推進校として、教育目標「よく考える子」の育成を目指し、児童自らが問題解決を行い、考えを表現していく中で学びを深める授業の実践に取り組んでいます。昨年11月に開催した研究発表会では、多くの学校関係者にご参加いただき、社会科・生活科の授業公開と研究内容の発表を行いました。



▲研究発表会(社会科授業)

## (2) プロジェクト「こころ」

教育目標「力を合わせる子」の育成を目指して、児童の豊かな心をはぐくむために、異学年交流、読書活動、道徳教育の充実や規範意識の育成に取り組んでいます。特に異学年交流では、1～6年生で構成する縦割り班での集会を毎月継続して行っています。9月にはその縦割り班で全校遠足にも行き、交流を深めました。



▲「こころ」縦割り班での全校遠足

## (3) プロジェクト「からだ」

教育目標「健康な子」の育成を目指して、児童の健康の保持・増進と体力の向上を図るため、体育的活動・保健指導・食育の3つの視点から、体幹強化及び姿勢教育を中心に健康教育に取り組んでいます。



▲「からだ」体育集会(水平クランチ)

## (4) ホームページのリニューアル

「保護者・地域と響き合う学校」を目指して、ご家庭や地域の皆様へ学校の情報をわかりやすく伝えるために、8月にホームページを全面リニューアルしました。現在は教育活動の様子等をできる限りリアルタイムで掲載しています。  
南成瀬小学校ホームページ <http://www.machida-ky.ed.jp/e-minaminaruse/>

# 大蔵小学校の教育

～互いに学び合い、認め合う子どもを目指して～

本校は、今年度開校35周年を迎えました。現在、24学級820名です。ピオトープ「大蔵の里」があり、自然豊かな環境の中、子どもたちは毎日元気な声を響かせています。昨年度はトイレ改修、今年度は中規模改修が行われ、校舎の外壁がきれいになりました。

## (1) 校内研究の取組(体育科)

今年度は、「できる楽しさを味わう体育学習」を校内研究テーマとし、体育の指導にも力を入れてきました。「楽しかった。」「できるようになったよ。」「友達と協力して気持ちよかった。」など体育の授業で子どもが生き生きと活動する姿が見られています。



▲体育の授業を受ける5年生

## (2) 小中連携教育推進(出前授業)



▲数学の授業を受ける6年生

今年度は、鶴川中学校の理科、国語、英語、数学の先生4名に来てもらい、6年生が4科目から自分の興味関心のある授業を選び、体験しました。6年生からは「中学校の授業に対して不安がなくなった。」「中学校生活が楽しみ。」などの感想が聞かれました。

## (3) 地域学習

3、4年生を中心に地域学習の充実を図っています。社会科や総合的な学習の時間に、商店街や工場、交番、畑の見学、大蔵の昔さがし、福祉施設との交流など、地域に出かけていき、学習を広げ、深めています。地域の方々にお世話になりながら、体験的、探究的な学習に子どもが目が輝いています。



▲新幹線部品工場の見学をする3年生

大蔵小学校ホームページ <http://www.machida-ky.ed.jp/e-okura/>



# 相原小学校の教育

～我が町、我がふるさと～

我が町、相原町は町田市の西部に位置しています。丹沢系の山々を間近にした、自然が豊かなすてきな町です。交通の便は横浜線を利用すれば、町田駅から相原駅までは20分余り、相原小学校は駅から歩いて8分と便利なところにあります。



▲5年生の大地沢での林業体験

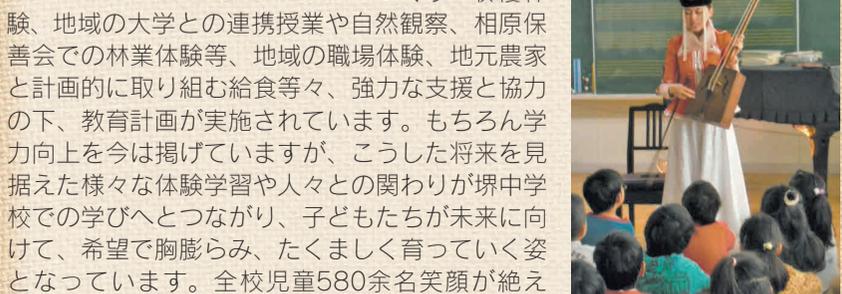
住民の気質は明るく穏やか、自然を愛し、子どもを大切に、地元母校の相原小学校をこよなく愛しています。保護者・地域のバックアップは町田市随一。子どものためなら協力を惜しみません。今年度は開校140周年の式典・祝賀会を丸となって楽しく行うことができました。



▲6年生の職場体験「相原探検隊」

学校・地域の願いは、将来に向けて自分の力を発揮できるものをつかみ、目標を掲げて精一杯努力する子を育てることにあります。

地域との連携活動も様々な形で大変豊富です。毎日の子どもの登下校では子ども見守り隊、さとやまの会による作物づくり・収穫体験、地域の大学との連携授業や自然観察、相原保養会での林業体験等、地域の職場体験、地元農家と計画的に取り組む給食等々、強力な支援と協力の下、教育計画が実施されています。もちろん学力向上を今は掲げていますが、こうした将来を見据えた様々な体験学習や人々との関わりが堺中学校での学びへとつながり、子どもたちが未来に向けて、希望で胸膨らみ、たくましく育っていく姿となっています。全校児童580余名笑顔が絶えず、楽しく生活しています。さて、今日の勉強は何を身に付けましょう。



▲大学連携授業で馬頭琴の音色を聞く

相原小学校ホームページ <http://www.machida-ky.ed.jp/e-aihara/>

# 堺中学校の教育

～明るく 元気な 笑顔のある 学校～

堺中学校は、地域に支えられ開校から67年目。連綿たる歴史と伝統を受け継ぎ、「生徒、保護者、地域からの信託に応える学校」を目指しています。訪れる方々は、口々に「挨拶が気持ちよい」と声を寄せてくださいます。昨年度からは、教育委員会から「学力向上モデル地区」の指定を受け、母体校である相原小学校・小山ヶ丘小学校との小中連携教育を進めています。この数年、学力は確実に向上してきています。

## (1) 燃える学校行事

生徒は行事に燃えます。運動会のスローガンは、「最高の感動を～598人の手で～」。



▲燃える合唱コンクール



▲防災体験キャンプ用品の運び出し

## (2) 地域と連携した防災教育

東日本大震災の翌年から「さかい“おやじ会”」とのコラボで「防災体験キャンプ」を3年間連続で開催しています。畳1枚、毛布2枚で体育館に宿泊し、非常災害を想定した体験活動を行っています。

## (3) メンタルヘルスリテラシー教育

外部機関と連携し、生徒自らが「こころの悩み」の理解と早期解消を進めるための「こころの体験授業」に取り組んでいます。スクールカウンセラーによるストレス・リラグゼーションの授業や、精神保健学や社会福祉学の観点を導入した、こころの不調に対する専門的な教育プログラムの実施等により、多様化する心の問題に生徒自らが向き合っています。



▲外部講師によるメンタルヘルスガイダンス

堺中学校ホームページ <http://www.machida-ky.ed.jp/j-sakai/>